

関東米粉食品メールマガジン

第211号 30. 10. 23【毎月1回発行】

(18.7.20 創刊)

関東米粉食品メールマガジンは、**関東米粉食品普及推進協議会**が、会員の皆様から寄せられた様々な情報をもとに、米粉の利用拡大のために情報発信しています。



◆目次

- <1> 米粉利用推進の取組紹介
- <2> イベント等開催・出展のお知らせ
- <3> 各事務局からのお知らせ
- <4> その他のお知らせ



< 1 > 米粉利用推進の取組紹介

◇ “日本の食品” 輸出 EXPO に出展（千葉県）

各都県の協議会員は、10月10日（水）～12日（金）までの3日間、幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区）で開催された輸出 EXPO に出展し、米粉製品を海外バイヤー及び日本の輸出業者に広く紹介しました。会場は、英語をはじめ、聞いたこともない言語があちらこちらで飛び交い、海外での日本食品のニーズの高まりを感じました。米粉を扱うブースでも多くの外国の方が訪れ熱心に質問するなど高い関心を集めていました。この取組により、日本産米粉が多くの外国人バイヤー、輸出業者に認められ、輸出促進につながることを期待したいと思います。

出展者は、株式会社波里（栃木県米粉食品普及推進協議会会員）、みたけ食品工業株式会社、NPO 法人国内産米粉促進ネットワーク（2社は、埼玉県米粉利用食品推進連絡会会員）、日本製粉株式会社、大潟村あきたこまち生産者協会、株式会社たふいあ（3社は、とうきょう米粉ネットワーク会員）です。



パッケーも英語表記



にぎわう米粉を扱う各ブース

◇ 収穫感謝祭 2018 で米粉利用食品のPR（群馬県）

米粉ネットぐんまでは、群馬県米粉利用推進協議会の会員として、10月13日（土）、14日（日）の2日間、前橋市亀里町のJAビル南側大駐車場において、群馬県産の農産物を幅広くPRすることを目的とした「収穫感謝祭2018」に「米粉PRコーナー」を出展し、米粉利用食品の試食やリーフレット配布など普及啓発活動を行いました。収穫感謝祭は毎年実施されており、多くの来場者で賑わいました。



多くの来場者で賑わう協議会のブース

群馬県米粉利用推進協議会及び米粉ネットぐんまの会員である、**群馬製粉株式会社**（渋川市）は「米粉マカロニ」、**星野物産株式会社**（みどり市）は「もちもちミルクパン」と「米粉かりんとう」、**けやき工房**（前橋市）は「米粉パン」を提供し、試食を行いました。

試食した来場者からは「おいしい」「もっちりしている」等の感想が多く聞かれ、パネル展示コーナーでは、「ノングルテン米粉」及び「米粉の用途別基準」について、説明を行いました。

「ノングルテン米粉」及び「米粉の用途別基準」については、まだあまり知られていない状況であるため、米粉の活用方法や米粉製品と合わせ、引き続き普及啓発を行っていきます。



パネル展示の様子

◇「埼玉県産米を活用したオリジナルレシピ」の募集について（埼玉県）

埼玉県米消費拡大推進連絡協議会では、「パン食」、「麺食」から「ごはん食」への回帰を促進し、県産米の消費拡大を図るため、平成26年度から「ごはん食」のオリジナルレシピを募集し、広報、啓発に取り組んでいます。今年度は、「簡単・手軽・短時間」というコンセプトのもと、『簡単！米粉のおやつ』をテーマにしたレシピを募集しています。

- 募集期間：10月26日（金）まで
- 対象者：埼玉県内の小学校、中学校、高校、特別支援学校、大学に通学する児童、生徒、学生
- 事務局：埼玉県農林部生産振興課（主穀担当）
（**埼玉県米粉利用食品推進連絡会会員**）

- 詳細は、こちらをご覧ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0904/komemugidaizu/recipe2018.html>



< 2 > イベント等開催・出展のお知らせ

◇第18回さいたま市消費生活展に出展（埼玉県）

くらし探検くらぶ（埼玉県米粉利用食品推進連絡会会員）では、消費生活展において市内で販売されている米粉を使用したパンやお菓子の展示、米粉に関するチラシ配布などの情報提供を行います。

まだ、米粉製品を見たことのない方、興味のある方は、是非、会場までお越しください。

- 日時：10月28日（日）
- 場所：さいたま新都心駅（改札前）東西自由通路
- 詳細は、こちらをご覧ください。

<http://www.city.saitama.jp/004/001/002/005/chuo/p060667.html>



◇「実りのフェスティバル」に出展（農林水産省）

農林水産省では、米粉の魅力をアピールするとともに、正しい知識を深めていただくための

各種イベントを開催いたします。今回開催の実りのフェスティバルの体験、試食コーナーでは、米粉でホットケーキ作りを予定しています。

- 開催日：11月2日（金）、3日（土）
- 場 所：サンシャインシティ
ワールドインポートマートビル4F 展示ホールA
- 詳細は、こちらをご覧ください。
<http://www.affskk.jp/>



◇さいたま市「浦和区民まつり 2018」へ出展（埼玉県）

マイ（米）・アトリエ（埼玉県米粉利用食品推進連絡会会員）では、「浦和区民まつり 2018」に出展し、埼玉県産米粉のPRのため、米粉を利用したシフォンケーキのほか、商品開発を進めていた米粉クッキーが完成しましたので、試食・販売を行います。多くの方の来場をお待ちしています。

また、マイ（米）・アトリエでは、米粉料理教室も開催しています。ご興味のある方は、是非、参加してみてください。

- 開催日：11月4日（日）
- 詳細は、こちらをご覧ください。（さいたま市HPアドレス）
<http://www.city.saitama.jp/004/001/002/005/urawa/p061275.html>
- 米粉料理教室（マイ（米）・アトリエHPアドレス）
<http://my-atelier.main.jp/>



◇「2018 彩の国食と農林業ドリームフェスタ」へ出展（埼玉県）

埼玉県米粉利用食品推進連絡会では、「2018 彩の国食と農林業ドリームフェスタ（同時開催：彩の国米まつり）」に出展し、埼玉県産米粉のPRを行います。連絡会会員から2会員が出展し、米粉を利用した「焼き菓子」「スイーツ」などの試食や販売を行います。多くの方の来場をお待ちしています。

イベント内容などについては、埼玉県のHPをご覧ください。

- 開催日：11月17日（土）、18日（日）
- 場 所：朝霞の森広場（朝霞市膝折1-34）
- 出展者 晴れ晴れ（米粉焼き菓子 など）
茶々（米粉スイーツ など）
- 詳細は、こちらをご覧ください。（埼玉県HPアドレス）
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0902/chisan/h29dream-kaisai.html>



◇米粉パンの予約販売を行っています（埼玉県）

埼玉県米粉利用食品推進連絡会では、毎月1回「米粉パンの日」とし、米粉利用拡大に取り組んでいます。現在は、国産米粉と北海道産小麦で作った「米粉ベーグル」と小麦、卵、乳の一部または全部を除去した「米粉の焼き菓子」、「米粉のソフトクッキー」などを販売しています。（アレルギー対応については、製造者に相談してください。）

購入に当たっては、事前予約が必要になりますので、購入希望等ある場合は、関東米粉食品普及推進協議会事務局（電話：048-740-0403）までお問い合わせください。

- 今後の販売予定日：11月6日（火）
- 引渡し場所：さいたま新都心合同庁舎2号館 2階ロビー
（さいたま市中央区新都心2-1）
- 製造者：WAベーグル（有限会社 食生活）
住所：さいたま市南区神明1-10-15 メゾン・ド・コリン1階
TEL：048-844-6313 FAX：048-740-7866
E-mail：wabage11@gmail.com



トリプルチーズ&バジル

◇「アグリビジネス創出フェア 2018」の出展等について（関東）

関東米粉食品普及推進協議会では、関東農政局との共催で、農林水産省主催のアグリビジネス創出フェアへ出展します。

また、同フェア会場で、**みたけ食品工業株式会社（埼玉県米粉利用食品推進連絡会会員）**の研究開発室・田島氏による「米粉の新たな可能性」と題したセミナーを20日に行います。

なお、関東農政局は20日に関東米粉食品普及推進協議会会員による米粉利用食品普及推進会議を開催いたしますので、多くの会員の皆様のご参加をお願いします。

①アグリビジネス創出フェアについて

- 開催日：11月20日（火）～22日（木）10:00～17:00
- 場 所：東京ビッグサイト（東京都江東区有明3-11-1）・食ゾーン26
- 詳細は、こちらをご覧ください。
<http://agribiz-fair.jp/>

②セミナー「米粉の新たな可能性」について

- 開催日：11月20日（火）14:10～
- 場 所：東京ビッグサイト セミナールームC

③関東米粉利用食品普及推進会議について

- 開催日：11月20日（火）11:00～
- 場 所：関東農政局 東京都拠点 東雲合同庁舎 共用会議室（5階）
（東京都江東区東雲1-9-5）
- 対象者：関東米粉食品普及推進協議会会員（事務局に参加申込をお願いします）

< 3 > 各事務局からのお知らせ

◇関東米粉利用食品普及推進会議の開催について（関東）

関東米粉食品普及推進協議会では、関東農政局が開催する関東米粉利用食品普及推進会議に多くの会員の方に参加してもらい、更なる米粉利用拡大に向けて活発な意見交換ができればと考えていますので、是非、ご参加ください。（< 2 > イベント等開催・出展のお知らせの「アグリビジネス創出フェア2018」の出展等について ③を確認ください）

◇米粉製品の販売店等の情報について（関東）

関東米粉食品普及推進協議会では、米粉普及の一環として会員の皆様の店舗等で販売している米粉食品などの情報を収集し、HPへの掲載やイベントでの配布を行っています。

引き続き、会員の皆様の米粉食品に係る最新情報を募集していますので、掲載希望の方は「米粉食品PRシート」を、各都県協議会事務局宛てにメールやFAX等でお知らせください。今回、**静岡県米粉食品普及推進連絡会**に係る情報が掲載されました。

- 米粉食品PRシート（エクセルファイル）のダウンロードは、こちらのページから。
<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komekojouhou/komekoibento.html>

◇米粉に関する情報をお寄せください（関東）

関東米粉食品普及推進協議会では、会員の皆様はじめ米粉に関心のある方から広く情報を寄せていただき、メールマガジンやホームページなどで、広く情報を発信しています。

イベント出展等、米粉利用拡大に係る情報がございましたら、「米粉に関する連絡票」をご利用いただき、事務局宛てにメールやFAX等でお知らせください。

- 米粉に関する連絡票のダウンロードは、こちらのページから。（エクセルファイル）
<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komekojouhou/komekoibento.html>

< 4 > **その他のお知らせ**

◇海外市場開拓について（農林水産省）

農林水産省が立ち上げた「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」に参加する輸出事業者及び産地の団体・法人を募集しています。

海外へ米粉食品の販売促進、展示会出展などのプロモーション活動などを計画している事業者の方は、プロジェクト参加に向けご検討してみてください。

- 米の輸出について分かりやすく説明した動画など、詳細は、こちらをご覧ください。
http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_yusyutu/kome_yusyutu.html#project

◇ジェトロの海外情報発信サイトの紹介

独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）が運営する日本産農林水産物・食品輸出マッチングサイトから海外への情報発信が可能となっています。

日本産米粉の輸出をお考えの方は、当該サイトの活用を検討してみてください。

- 詳細は、こちらをご覧ください。
https://www.jetro.go.jp/ttpp/JAN.CL01_JAN?koryu_keitai=01001000100010&kani=01&kuni=1&kibou_koku=9000&keyword_j=%95%C4%95%B2&keyword_e=Rice+flour&disp_proj=500000039

◇「食べて応援しよう！」の取組について

農林水産省関東農政局では、被災地産食品を積極的に消費することによって、産地の活力再生を通じた被災地の復興を応援するため、多様な関係者間で一体感を醸成できるよう、共通のキャッチフレーズ「食べて応援しよう！」の利用を呼びかけております。ご賛同いただける方のご参加をお待ちしております。

- 「食べて応援しよう！」へのリンク（関東農政局HP）
http://www.maff.go.jp/kanto/ouen/tabete_ouen.html



【編集後記】

農林水産省では、食料、農業、農村に関し、中長期的に取り組むべき方針を定めた「食料・農業・農村基本計画」を作成しています。この計画は、情勢の変化等を踏まえ、概ね5年ごとに見直し、変更を行っています。現行の食料・農業・農村基本計画は、平成27年3月31日に閣議決定されましたので、現在は、その3年目、5年間であれば、ちょうど真ん中にあたります。折り返しの年にあたっていますので、現状がどうなっているのか、確認してみました。

食料・農業・農村基本計画での食料自給率の目標は、45%としています。計画決定時の自給率は39%（平成25年度）で、現在は残念ながら1ポイント減の38%（平成29年度）となっています。

目標としている45%に直近で1番近いのは、平成7年の43%です。

平成7年と現在の品目別の自給率を比較してみると、米、いも類、野菜、果実、肉類、牛乳・乳製品、魚介類、油脂類はポイントを下げています。

しかし、鶏卵、海藻類は同ポイント、小麦、大麦・はだか麦、豆類、砂糖類、きのこ類は、上がっています。

一方、米については、少子高齢化、人口減少等により年々需要が減少する中、水田を活用して、麦、大豆や米粉用米、飼料用米など自給率向上に貢献する作物の需要に応じた生産を進めています。

折り返しの残り2年半、一人一人の消費者が食料安全保障の観点からも、米、米粉の消費拡大はもとより、国産農産物の更なる消費拡大による食料自給率の向上についても考えていただければと思います。

食料自給率の推移 (単位:%)

品目	平成7年度	平成29年度	増減ポイント
米	104	96	▲ 8
小麦	7	14	7
大麦・はだか麦	8	9	1
いも類	87	74	▲ 13
豆類	5	8	3
野菜	85	79	▲ 6
果実	49	39	▲ 10
肉類	57	52	▲ 5
鶏卵	96	96	
牛乳・乳製品	72	60	▲ 12
魚介類	57	52	▲ 5
海藻類	68	68	
砂糖類	31	32	1
油脂類	15	12	▲ 3
きのこ類	78	88	10
供給熱量ベースの総合食料自給率	43	38	▲ 5

出典：農林水産省（食料自給率・食料自給力についてのページから抜粋）

http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/011_2.html

●米粉食品に関する情報は・・・

http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komeko_jouhou/

●関東米粉食品普及推進協議会員を募集！「各都県協議会事務局まで」

<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/kyougikai/>

●FOOD ACTION NIPPON「米粉倶楽部」公式サイト

<http://www.syokuryo.jp/komeko/>

●皆様のご意見・ご質問、ご要望をお待ちしています。

関東米粉食品普及推進協議会事務局（関東農政局 生産部生産振興課内）

TEL：048-740-0406（直通） FAX：048-601-0533

*メルマガバックナンバー ⇒ <http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/merumaga/>